

出張採録から見た院内がん登録

Role of the Miyagi Prefectural Cancer Registry in the development of hospital-based cancer registries

西野 善一*

1. 出張採録の意義

宮城県においては、がん罹患情報収集の方法として医療機関からの自主的な届出に加え、業務委託を受けた宮城県対がん協会がん登録室職員が各医療機関へ出張し、診療情報を閲覧の上必要な情報を調査票に転記する出張採録を積極的に実施している。出張採録の実施は地域における登録もれの症例を減少させるとともに、地域がん登録の実務に通じた担当者が情報の抽出を行なうことにより、質が高く、かつ標準化された登録情報が得られるという点で利点を持っている。

2. 出張採録の現況

現在、宮城県対がん協会がん登録室は 24 医療機関（仙台市 10 施設、他市町村 14 施設）に対して出張採録を実施しており、これらの出張採録に際しては、毎回 4～5 名の医師およびがん登録室職員が各施設におもむいて作業を行っている。また、このうち 7 施設については、入院・退院台帳、手術台帳、病理検査台帳等の閲覧許可を得て case finding の作業を地域がん登録側が実施している。

平成 17 年 9 月時点での過去 1 年間の全収集症例数 16,929 件のうち、12,796 件（75.6%）が出張採録から得られたものである。これらを収集するのに 1 施設あたり 1～6 日、合計で年間 84 日を要している。

3. 出張採録と院内がん登録

これまで出張採録を実施してきた施設の中には、宮城県内の地域がん診療拠点病院のほとんどが含まれているが、地域がん診療拠点病院の指定要件の一つに、院内がん登録システムが確立している、または今後数年以内に当該システムが確立する見込みが確実である医療施設であること、とあり、これに基づき平成 17 年 9 月時点では全 5 施設で院内がん登録が開始されている。従ってこれらの病院における院内がん登録が機能するようになれば、地域がん登録への届出実施が期待できる。また、地域がん診療拠点病院以外の医療機関でも院内がん登録の実施を計画している施設がある。現在のところ、その多くが開始直後ということがあり院内がん登録実施施設の中で地域がん登録への届出を行っている施設は少数であるが、今後、各施設における院内がん登録が軌道に乗り届出が得られるようになれば、地域がん登録側の労力が軽減することとなり余力をいっそうの精度向上につなげることが可能となるため、院内がん登録の整備は地域がん登録の精度向上にとっても重要であると考えられる。

一方、地域がん登録担当者は出張採録の際に case finding や診療情報からの登録情報抽出といった院内がん登録と共通する作業を実施しており、また各医療施設で院内がん登録の開始や運用の実務に主要な役割を果たす診療情報登録管理担当者と定期的に連絡をとっている。こ

*宮城県立がんセンター研究所 疫学部

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1

のように地域がん登録担当者は各施設で院内がん登録の開始や実施の際に問題となる点を理解し得る立場であることから、各医療施設に対して現実に即した助言や支援が可能である

と考えられる。今後、地域がん登録室と院内がん登録実施あるいは実施予定施設がより密接に連携を行うことが双方の充実のために重要であると考えている。

Summary

The Miyagi Prefectural Cancer Registry has actively collected information on cancer cases by visiting hospitals and abstracting data from medical records in addition to voluntary reports from hospitals. Of 16,929 cases collected in the last year, 12,796 cases (75.6%) were gathered through this active method. There were few hospitals with hospital-based cancer registries in Miyagi prefecture until recently, however, several hospitals have started or are preparing for starting them now. The Miyagi Prefectural Cancer Registry understands the possible problems in setting up or operating hospital-based cancer registry in each hospital from experience of the active way of information collection. Therefore, the registry will be able to contribute to the development of hospital-based cancer registries in Miyagi.